

輪郭

米本樹奈

美術の授業があり 「今日は、あなたの目の前にいる人を描きましょう」と
言われた私は

えんぴつを持って曲線と直線を描いた

『目の前の人』の顔を ふちどり、なぞった

黒く汚れた指をこすって

私は私が間違ったことをしているということについて考えた

『目の前の人』は私に向かって話しかけた

夏より冬が好きでコートを三着持っている

朝起きると最初にラジオの電源を入れて洗面台を磨く

『目の前の人』の口は 開かれ閉じて『あなた』をかたどる

『あなた』が笑う

『あなた』は楽しいのだろう

『あなた』が「私はこれが好き」と言う

『あなた』はこれが好きなのだろう

あふれる『あなた』『あなた』『あなた』『あなた』『あなた』を一本の線で描く私を

私は信じていたくなかった

胸が騒ぎ水滴が落ちた

目の前の『あなた』の姿が滲む

『あなた』をふちどるえんぴつが消えてしまえばいいと願う

『あなた』は静かに『私』の背中を撫でる
『私』は黙っている